

連携研究実施報告

2014年10月24日（金），川崎研，黒沢研，塘研が連携研究「プロジェクトの成果の普及に向けた裏磐梯のガイドを中心とするエコツーリズム関係者のヒアリング」の一環として，裏磐梯エコガイドの会に所属しているガイドの方（今回は國原よし子さん）に実際のエコガイドをして頂き，どのようなガイドをされているのかを体験しました。裏磐梯ビジターセンターに集合した後，毘沙門沼から柳沼までの五色沼自然探勝路を約2時間30分かけてゆっくりと散策しました。参加者は教員3名以外に川崎研の院生3名（三部君，星君，佐藤君），黒沢研の学生2人（遠藤君，山口さん），塘研の学生2人（関原さん，林君）の計10名でした。

國原さんはベテランのガイドさんで，知識も豊富でお話も上手で，説明もとても分かりやすかったです。磐梯山の水蒸気爆発と山体崩落，被災時の日本赤十字社の活躍，沼の水の色，各沼の水の流れ，植生遷移，植林，植物の話題はミツガシワ，ヒトツバカエデ，オニグルミ，ドクゼリ，アキグミ，ヤマナラシ，ヤマブドウ，コシアブラ，オオウバユリ，イタヤカエデ，オシダ，ハリブキなど，動物の話題もツキノワグマ，モリアオガエル，クロサンショウウオ，リスなどが登場しました。生物は単に名前を教えるだけでなく，関連したその生物の生態的な特徴も交えてお話し下さいました。また，裏磐梯の自然を対象したお話だけでなく，ペットを連れ



て歩く問題，自然に対する興味の広げ方など，学生にとって大変勉強になるお話をたくさんして頂きました。

裏磐梯はちょうど紅葉の見頃を迎えた時期であり，毘沙門沼付近は観光客も多く，五色沼自然探勝路もかなりの人が歩かれていました。そんな中，紅葉と沼の色と自然をガイド付きで楽しむことができ，これが連携研究の一環であることをつい忘れてしまいました。ガイド役の國原さん，今回のエコツアー実施にご尽力頂いた裏磐梯エコガイドの会の友坂さんにこの場を借りて感謝申し上げます。（文責 塘）

